

# 東洋医学（漢方）センター外来

協和中央病院 東洋医学センター

## ～漢方で健康生活

東洋医学センター センター長 玉野雅裕（副院長・内科部長・筑波大学附属病臨床教授）

顧問 加藤士郎（筑波大学附属病院臨床教授）

特別顧問 高山宏世（漢方常用処方解説：赤本 著者）

### ご挨拶

急速に発展成長する現代社会において、多種多様なストレスにより人々は様々な疾患、健康障害にさらされています。西洋医学は高度先進医療など、目覚ましい進歩を遂げ、現代医療の中心的役割を担っています。日本は世界屈指の長寿国であり、西洋医学がこの根底を支えているのは間違いありません。病気を的確に診断し、臓器別にピンポイントに治療する点が西洋医学の特質です。一方、漢方医学は心身一如の精神で心と体を一体に捉え、個別に最適な漢方薬を用いることにより体質、状態を最善の方向に導くことを目指しています。西洋医学で十分が取れない症状や、再発を繰り返すような場合に漢方医学を併用すると、根本的に体質から改善させて、より健全な状態に導くことが可能になります。激動する現代、東西結合医療（西洋医学と漢方医学の併用）が健康長寿の推進に役立つことを確信しています。

当センターでは漢方専門医（常勤2名、非常勤2名）が月曜日～土曜日外来対応しており、地域の健康向上を目指しています。また、日本東洋医学会指定研修施設として、漢方専門医の育成にも積極的に取り組んでおり、各診療科に勤務しながら漢方専門医資格取得が可能です。

### 東洋医学（漢方）外来とは

東洋医学とは人の体質（東洋医学用語では”証”といいます）を重視する治療法です。

一般には、漢方薬による治療が全てと思われがちですが、東洋医学の治療には、大きく4項目あります。

1.養生食 伝統的に知られている体力を増強させる食事

- 2.気功（運動療法）呼吸法に特徴のある運動療法で自律神経や免疫を整える体操
- 3.鍼・灸ツボを刺激して体調を整える
- 4.漢方薬 植物、動物、鉱物等の生薬を混ぜて作り上げた薬で主に神経、免疫、内分泌を整える作用がある

これら 4 つの治療方法を患者さんの体質に合わせて用います。更に必要であれば西洋医学療法との併用療法をおこないます。

西洋医学は感染症などの原因が科学的に解明されている病気には大変すぐれた治療成績を示します。

一方、東洋医学は、

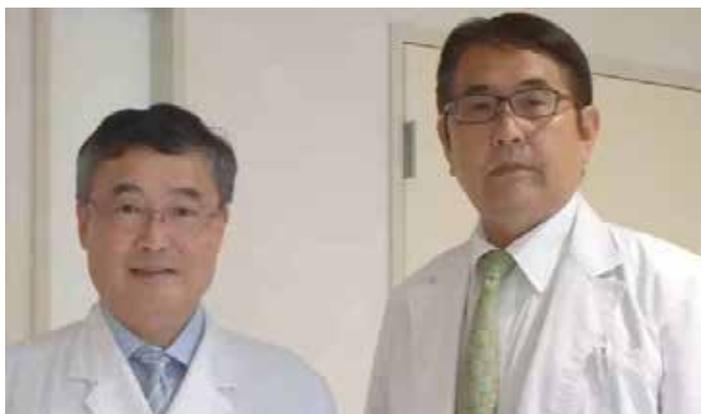
冷え性、のぼせ、生理痛、食欲低下、倦怠感、めまい、風邪にかかり易いなどの、西洋医学では十分に説明出来ない病気

（自律神経異常、アレルギー、ホルモン異常、免疫低下が関与する病気）も治療可能です。

このようなことでお悩みの方は、是非とも一度おいでください。

※当院では「鍼灸」を使用した治療は行っておりません

体質を改善し、心と体をより良い状態に導くことを目標に、診療を行っております。精神医学、耳鼻咽喉科、産婦人科と漢方医学の両者の専門医資格を有する医師と連携し、東西医学を併用することによる最良の医療の提供を目指しています。



玉野雅裕 センター長

加藤士郎 顧問